

大津市民会館において、前進座創立80周年記念公演「夢千代」が開催されました。この公演は、吉永小百合さんがふんずる主人公が、体内被爆といふ十字架を背負いながら、健気に生きていく姿に、悲しさ、憧れ、優しさを感じ、心の奥に残つていきました。夢千代さんは、1941年から1984年にかけて放映され、吉永小百合さんがふんずる主人公が、体内被爆といふ十字架を背負いながら、健気に生きていく姿に、悲しさ、憧れ、優しさを感じ、心の奥に残つていきました。



「夢千代」はNHKドラマ人間模様として、1981年から1984年にかけて放映され、吉永小百合さんがふんずる主人公が、体内被爆といふ十字架を背負いながら、健気に生きていく姿に、悲しさ、憧れ、優しさを感じ、心の奥に残つていきました。夢千代さんが、最後の力をふりしぼつて、出産を助け、赤ん坊の泣き声を残るといわわれています。（通信・山崎）

10月19日（水曜日）
組合定期大会
午前10時から午後2時
年金者部会総会
午後2時半より3時半
合同交流会
午後3時半より5時半

従組定期大会
年金者部会総会にご参加を！

大震災の重建援助を金融庁・金融業界に要請

松木委員長は挨拶のなかで、日本の政治経済の状況や3月11日の東日本大震災から金融労連では物資の支援や義捐金活動、また、被災者の生活・中小零細企業の重建支援の援助を金融庁や金融業界に要請したことなどを取り組みについて述べられました。

議案は、2012年秋・年末闘争など当面の取り組みは、「職場の状況や、定期大会などで出された要望をまとめて銀行に要求し、団体交



討論では20名の代議員が「パワハラによるメンタル不全」「原発や震災の被災者支援」「争議の訴え」について多く発言されました。

当単組代議員の小原さんは「私の声が聞こえますか」と私たちに、原爆の恐ろしさ、悲惨さを訴えて続けています。

福島の原発事故により、私たちも原子力の恐ろしさを、また目に前に知ることになりました。福井原発の近くに住むものとして、核兵器廃絶、原発からの撤退は特に緊急の課題です。

9月17日から2日間の日程で東京都内において金融労連第6回定期大会が開催され、役員・代議員・オブザーバーなど全国から92人が参加しました。

滋賀銀行従業員組合から本部役員の中島委員長と代議員として小原書記長が参加しました。

金融労連第6回定期大会 パワハラ根絶など議論



大津市浜町1-38
滋賀銀行従業員組合
TEL 077-525-5232
TEL 077-521-2775
FAX 077-525-5232
<http://www.biwa.ne.jp/ffs/>
E-Mail:ffs@biwa.ne.jp

職場の声

上司の一言に喜び

台風の接近により、急遽早帰りする事になりました。定時に終礼を終え、部屋を退出する際いつものように何気なく「お言つたら、「台風やし、気付けて帰りや」と返答がありました。

私はかつての上司に「お前の親があほやから、お前のようなあほな奴が生まれたのや」とか「辞めてしとか「なんで来るねん」とか大

先失礼します」と上司に

波紋の声に経過報告

波紋の声に対する途中経過の報告です。

本店の火災から2カ月

が過ぎました。未だに消

防署による原因の調査中

のことです。

携帯電話の地下更衣室

の「圈外解消」の対策で

すが「N-Tトドコモ」と

「A-U」は現在対策を検

討中とのことですですが「ソ

フトパンク」は無理との

ことらしいです。

